

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和5年12月22日（金）10時00分～11時15分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室  
正岡企画調査官、佐藤室長補佐、森審査班長、石井安全審査官、山下専門職、元嶋専門職、横山係長、椎名係長、植木技術参与  
福島第一原子力規制事務所  
松沢原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）  
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所 担当7名（うち6名テレビ会議システムによる出席）  
プロジェクトマネジメント室 担当2名（テレビ会議システムによる出席）

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき定例の報告内容に加えて、以下の説明があった。
  - 淡水確保に伴う処理途上水の仮設移送について
- 原子力規制庁は、上記説明について事実関係の確認等を行うとともに、主に以下のコメントを伝えた。
  - 仮設 PE 管同士はフランジ接続にすることだが、通常の融着接続を採用しない理由を示すこと。また、当該仮設 PE 管をプロセス主建屋（PMB）のどの既設配管に接続するのか、具体的に示すこと。
  - 仮設 PE 管等の日々の運用方法（フラッシングの方法や移送していない時の閉止フランジの有無等）を説明するとともに、実施計画の記載上、処理途上水が PMB 等の入口水として読めるものであるか確認すること。

#### 6. その他

##### 資料：

- 福島第一原子力発電所第1号機、第2号機及び第3号機の原子炉内温度計並びに原子炉格納容器内温度計の信頼性評価について（2023年12月提出）
- 循環注水冷却スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備 スケジュール
- 使用済燃料プール対策 スケジュール
- 淡水確保に伴う処理途上水の仮設移送について（現在の状況及び今後の対応について）

以上